社会学　研究科

応用社会学　専攻　コース

博士課程前期　課程　2　回生

修了後の進路　：　博士課程後期課程進学

研究テーマ：遺伝医療と〈遺伝〉の概念分析、生物学・医学を軸にした歴史社会学

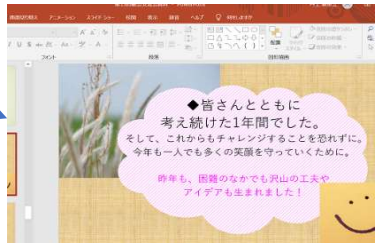
●大学院生の2年間の過ごし方

	春学期	秋学期
1回生	・授業選択、大学院生活スタート ・年度研究計画書の提出 ・関心のある研究会に参加、ネットワークを拡げる	・資料収集、先行研究まとめ ・学会（専門領域に限定しない）参加 ・研究会に参加、発表 ・IPAC(国際シンポジウム)に英文論文投稿、発表
2回生	・年度研究計画書の提出 ・日本学術振興会特別研究員申請 ・修士論文構想発表会	・修士論文提出、前期課程修了 ・IPAC(国際シンポジウム)に英文論文投稿、発表 ・CPS、BBPスタッフ、TA、チューターTA ・学会誌論文、書評等執筆 ・後期課程進学

1回生の春セメスターの一週間の過ごし方

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限	〈講義予復習・研究〉		〈講義予復習・研究〉		〈講義予復習・研究〉	・学会、研究会、合評会等参加 ・がん患者支援活動（役員会、勉強会、交流会、打合せ、HP更新、メルマガ配信、講演等） ・ゲノム医療、がん医療セミナー等 ・講義予復習、研究 ・語学の勉強、各種テスト ※土日はなるべく環境を変えながら。コーヒーハウスならぬCafe勉強も大切な時間です。
第2時限		研究プロジェクト		政治・経済研究		
第3時限	福祉社会研究	国際プロジェクト		〈講義予復習・研究〉		
第4時限	社会文化研究	発達臨床研究	哲学特殊問題（他研究科）			
第5時限	資料文献研究（独語）	院ゼミ	現代社会研究			
第6時限			社会学研究法スタンダード	社会学研究法アドバンスト		
第7時限	がん患者支援活動・患者会	研究会（他大学）	研究会・読書会	研究会（他大学）	勉強会・読書会	

＜ある日の様子＞
7:30　起床、家事、トレーニング
8:00-9:00　メールチェック、がん患者支援活動の作業
9:30-10:00　講義準備等
10:40-12:10　講義（コロナ禍のためオンライン）
12:10-13:00　昼食・近所の山登り
13:00-19:00　講義・ゼミ（オンライン）
19:00-21:00　研究会（他大学、オンライン）
23:00-01:30　講義予復習、研究、論文整理、がん患者支援活動の作業、語学勉強等
01:30　就寝
※M1は講義を多く取るとともに、研究会等に積極的に参加。オンラインが多いため目標を立てて運動もしました。



大学院生で良かった！研究が楽しい！と思える瞬間、出来事

・院生の段階では、他の研究者と問題関心や研究姿勢が共鳴し研究上のブレイクスルーとなるときは「楽しさ」を感じる瞬間だと思います。
・良き参照枠としての同世代若手研究者の鋭い洞察や構想力に触れるとハートに火が付きます。

大学院を目指す方へのメッセージ

自分は何に怒りを感じ、涙を流し、喜びを感じ、エネルギーを注げるのか。それを知るためにさまざまな経験を積んでください。それらが学問の世界に繋がると感じるのであれば、本を漁り、人と話し、研究室の扉を叩いてみてください。

文学	研究科
行動文化情報学　専攻	文化情報学　専修
博士課程前期	課程　2　回生
修了後の進路　：　博士課程後期課程進学	

研究テーマ：勝川派の役者絵と天明歌舞伎

●大学院生の2年間の過ごし方

	春学期	秋学期
1回生	・入学、授業スタート ・修士論文構想、調査	・修士論文調査 ・資料収集、分析 ・研究会活動 ・学会発表・論文投稿
2回生	・修士論文調査 ・資料収集、分析 ・研究会活動 ・学会発表・論文投稿	・修士論文執筆→提出 ・研究会活動 ・学会発表 ・卒業

2回生の秋セメスターの一週間の過ごし方

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限	調査	調査	PA	PA	PA	基本的に趣味に没頭しています。美味しいものを食べに行ったり、本を読んだり、映画やアニメを見たりしてリフレッシュします。
第2時限					TA	
第3時限			授業	調査		
第4時限			TA		授業	
第5時限			授業		調査	
第6時限			研究会 セミナー			
第7時限						

＜ある日の様子＞
08：30　起床
09：30　PA（プロジェクトアシスタント）作業
・
10：30　専攻TA　研究室環境の整備・学部生へのアドバイス等
・
12：00　お昼ご飯
・
14：40　授業
16：00　調査、研究室や究論館等で資料を見たり分析したり
・
19:30　帰宅・夜ご飯・自由時間
23:30　語学学習・軽い作業
24:30　就寝

大学院生で良かった！研究が楽しい！と思える瞬間、出来事

自分の好きな世界にどっぷり浸かっていられるのは大きな魅力です。研究と関係するプロジェクトに参加することも多く、国内外問わず美術館に調査に行ったり、様々な伝統芸能の撮影に行ったり。そんな特別な経験ができるのも大学院生ならではかも。

大学院を目指す方へのメッセージ

学部時代の学びを通して、もっと知りたい、探りたいと思うことを見つけられたなら、大学院での自分の興味にじっくり向き合える時間は充実した幸せな時間になると思います。
大学院進学、迷うことも多いと思いますが、頑張ってください！

映像	研究科
映像　専攻	コース
修士	課程　1　回生
修了後の進路　：　就職	

研究テーマ：動画共有サイトにおける異文化交流に関する研究

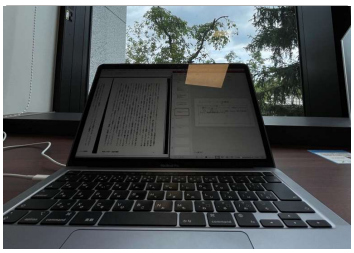
●大学院生の2年間の過ごし方

	春学期	秋学期
1回生	・入学 ・授業選択、大学院生活スタート ・仮指導チームの先生と交流 ・就職のための自己分析及び就職講座に参加する	・修士論文構想 ・修士論文作成に向けた予備調査 ・資料・先行研究収集 ・就職活動準備
2回生	・就職活動開始 ・論文構想発表会 ・修士論文本調査開始	・修士論文執筆開始 → 提出 ・卒業

1回生の秋セメスターの一週間の過ごし方

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限		研究調査	研究指導	自主学習		友達とお寺や神社などに出かけて気分転換したり、夜はゲームで遊んだり、映画やドラマを観たりします。
第2時限	授業					
第3時限	授業		図書館			
第4時限	授業					
第5時限					TA	
第6時限	自主学習			研究指導		
第7時限						

＜ある日の様子＞
8:00　起床
8:30　朝食
9:00　ZOOMで研究指導
11:00 学校に向かう
・
12:00 食堂で昼ごはん
14:00 研究室で自主学習
16:00　図書館で次週の研究指導に向けて調べもの
・
19:30　帰宅＆夕飯
21:00　軽く作業・休憩
24:00　就寝



大学院生で良かった！研究が楽しい！と思える瞬間、出来事

何かあった時、感情的に判断するのではなく、理性的に分析するようになったことは一番良かったことだ、と思います！これこそ、大学院生になる価値があると思います。

大学院を目指す方へのメッセージ

大学院に入りたいと思うより、自分が何を研究したいかを考えることが一番重要だと思います！

文学	研究科
人文学　専攻	英語圏文化　専修
博士課程前期	課程　1　回生

修了後の進路　：　就職

研究テーマ：Twitterにおける新奇表現の分析

●大学院生の2年間の過ごし方

	春学期	秋学期
1回生	・入学 ・授業選択、大学院生活スタート ・研究計画	・修士論文作成に向けた新奇表現の分析 ・資料・文献の収集 ・秋学期講義の単位取得 ・就職活動準備
2回生	・就職活動開始 ・学会発表またはジャーナルへの投稿 ・修士論文執筆開始	・修士論文の執筆と提出 ・学会発表等への参加 ・卒業

1回生の秋セメスターの一週間の過ごし方

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限	アルバイト					私は学費と生活費を自分でやり繰りしているため、アルバイトをいくつか掛け持ちしています。そのため、土曜日は朝から晩まで一日中働いています。一方で、日曜日は完全にオフの日と決めて、アルバイトなどは入れないようにしています。その代わりに、普段はショッピングに行ったり、家の掃除をしたりしてのんびり過ごします。しかし、課題や研究に追われスケジュール通りに生活できていないなと感じる時は残っているタスクなどをこなすようにしています。
第2時限		英語圏地域・文化研究II(L)		【TA】コミュニケーション学概論(L)	【TA】言語表現メディア探求(L)	
第3時限			英語学 III(L)			
第4時限				【TA】基礎購読	学術英語ライティング(L)	
第5時限			アルバイト	特別研究（隔週）	英語圏地域・文化研究特殊問題II(L)	
第6時限				特別研究（隔週）		
第7時限						

＜ある日の様子＞
6:30　起床
7:30　お気に入りのカフェで授業の予習
10:30　大学へ移動し、TA業務の準備
10:45　TAとして講義を補佐
12:15　図書館で研究について考える
14:00　食堂で昼食
14:40　授業
18:30　帰宅
19:00　夕食・入浴
21:00　のんびりTIME（ドラマを観たり、漫画を読んだりしてます！）
22:30　就寝

大学院生で良かった！研究が楽しい！と思える瞬間、出来事

TA業務で受講生のみなさんから感謝の言葉をかけてもらえたことです。1回生の春学期にTAを引き受けました。講義の担当教員が、学部時代にお世話になった先生方で、恩返しの気持ちで積極的に業務に取り組んでいたところ、最後の講義の際に担当の先生が特別に受講生からTAへメッセージを送る機会を設けて下さいました。受講生から、「自分の課題を良いと言って授業で紹介して下さったので自信がつきました」や「非対面授業でTAさんが、私が気になっていた箇所を代わりに先生に質問してくれたのでより理解を深められました」などたくさんの感謝の言葉を頂きました。この時、TAをやっていて良かったなと思ったと同時に、学部時代には体験できなかった業務に携われる大学院生になって良かったと思いました。

大学院を目指す方へのメッセージ

「大学院に入った後よりも、入る前にしっかりと自分の研究について考えて！」と伝えたいです。私が大学院に入学する前に、指導教員から「大学院では自分で考えて自分で研究を進めなければいけない。「何をすればいいですか？」や「どう研究を進めたらいいですか？」という人は大学院生に向いていない」と何度も言われました。学部時代は、卒業論文などを通して「研究する」ということを学び、また研究を通して書く力や思考力を高めることが重要だったように思います。しかし、大学院は「研究について学ぶ場所」ではなく「研究をする場所」だと私は考えています。しっかりとした研究の目的がないのであれば大学院には行くべきではないと思いますし、自分のキャリアの足を引っ張るものになりいずれ後悔することになると思います。大学院進学は人生の大きな分岐点だと思いますので、なんとなくで進学するのではなく、しっかりと考えた上で決断してほしいと思います。

経営学　研究科

企業経営　専攻　コース

博士課程前期　課程　2　回生

修了後の進路　：　就職

研究テーマ：支払方法が消費者の衝動購買に及ぼす影響：買い物の楽しさの媒介効果

●大学院生の2年間の過ごし方

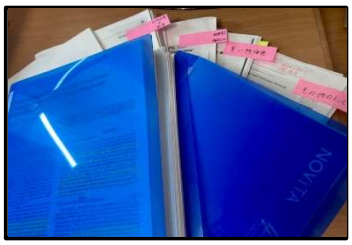
	春学期	秋学期
1回生	・入学 ・授業選択、大学院生活スタート ・講義の課題と向き合う日々を送る ・興味のある研究テーマに触れる ・指導教員の選考	・研究テーマの絞り込み・確定 ・資料収集 ・ゼミと修士論文以外の単位を取り切る ・就職活動：インターンシップ、企業研究、自己分析
2回生	・就職活動：説明会、面接 ・研究計画書の提出 ・修士論文執筆開始	・修士論文の中間報告会 ・修士論文執筆→提出 ・卒業

1回生の春セメスターの一週間の過ごし方

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限	会計学	学部授業のTA			マーケティング	カフェや買い物に出かけたり、友達と会って話したりして気分転換をしています。平日も土日も空き時間に運動をするようにして、心身ともにリフレッシュすることを心掛けています。
第2時限	競争戦略			生産マネジメント	研究方法論	
第3時限				外国文献研究		
第4時限	経営学のための数学		統計学		組織科学	
第5時限			ゼミに自主的に参加			
第6時限						
第7時限						

＜ある日の様子＞ ※オンライン授業を想定しています

7:00　起床
8:00　1時限、2時限の予習／プレゼン準備
9:00　1時限：プレゼンテーションを踏まえてディスカッション
10:40　2時限：説明を聞きながらメモをとる。分からないときは質問！
12:10　昼食
13:00　4時限の予習／プレゼン準備
　　論文を探して読む→ 研究テーマとの関連性を考える
14:40　4時限：プレゼンテーションや課題に関するディスカッション
16:30　日曜日締切の課題を仕上げる
21:00　論文を読む
23:30　1日の振り返り・翌日なにをするのか計画
24:00　就寝



大学院生で良かった！研究が楽しい！と思える瞬間、出来事

自分とは異なる専門知識をもった学生とディスカッションができること。
学んだ知識が他の事象にも応用できることを知ったとき。学べば学ぶほど世界が広がる感覚があり楽しいです！

大学院を目指す方へのメッセージ

大学院生活はあっという間です。大学院で何をしたいか、何を得たいかを明確にしておくと、より充実した生活が送れると思います。また、卒業論文と真剣に向き合う、研究に対する姿勢を確立しておくと、良い修士論文が執筆できるはずです。

経営学　研究科

企業経営　専攻　コース

博士課程前期　課程　2　回生

修了後の進路　：　就職

研究テーマ：WITHコロナ時代の日本企業における女性管理職比率の向上

●大学院生の2年間の過ごし方

	春学期	秋学期
1回生	・入学 ・授業選択、大学院生活スタート	・修士論文構想 ・修士論文作成に向けた予備調査 ・資料収集 ・就職活動準備
2回生	・就職活動開始 ・論文構想発表会 ・修士論文執筆開始	・修士論文執筆→提出（予定） ・修了（予定）

2回生の春セメスターの一週間の過ごし方

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限						・アルバイト・就活準備
第2時限			研究室			
第3時限						
第4時限			経営史			
第5時限		ビジネスエコノミクス				
第6時限						
第7時限						

＜ある日の様子＞
8:00　起床→準備
8:30　朝食（簡単なものですが作ります）
9:00　【就活】説明会①（オンラインなので最大4社/日参加したことも。）
10:30【就活】説明会②
12:00　昼食（学食に行くこともあります。）
13:00【就活】面接準備（指導教授に面談練習してもらいました！）
14:00【就活】面接
14:30　休憩
15:00　修士論文の参考文献収集（簡単にでもまとめておくと後々役立ちます。）
16:20　5限（ビジネス・エコノミクス）
18:30　夕食→お風呂
20:00　文献を読む・就活準備・ストレッチなど
24:00　就寝

大学院生で良かった！研究が楽しい！と思える瞬間、出来事

1番は先生との距離が近いことです。経営学研究科は1人の先生に対して2人の学生が研究室に所属できるシステムです。立命館の先生方は面倒見も良いのでコロナ禍でも安心して学ぶことができました。また、当然ですが学部の頃よりも求められるハードルは高くなります。大変ですが、その分深い学びができ、達成感を感じます。

大学院を目指す方へのメッセージ

立命館大学大学院は、たくさんの仲間と頼りになる先生方と共に刺激的かつ楽しく学ぶことのできる場だと思います。私は、指導教授からの教えである「オリジナリティのある研究をすること」を意識しながら、仲間と切磋琢磨しつつ研究活動に励んでいます。皆様が素敵な大学院生活を送れることを心よりお祈りいたします。

文学	研究科
人文学　専攻	コース
博士課程前期	課程　1　回生
修了後の進路　：　就職	

研究テーマ：現代ポピュラー音楽を題材とした、経験のないノスタルジーについての分析

●大学院生の2年間の過ごし方

	春学期	秋学期
1回生	・入学 ・授業選択、大学院生活スタート ・TA等アルバイト ・就職活動準備	・修士論文構想 ・修士論文作成に向けた予備調査 ・資料収集 ・就職活動準備 ・アルバイト
2回生	・就職活動開始 ・論文構想発表会 ・修士論文執筆開始	・修士論文執筆→提出 ・卒業

1回生の秋セメスターの一週間の過ごし方

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限						休日は、研究に直接関係しない分野の読書や映画鑑賞に時間を費やす場合が多いです。
第2時限				授業		
第3時限			授業			
第4時限			授業		授業	
第5時限						
第6時限						
第7時限						

＜ある日の様子＞

8：00　起床、朝食等

10:00　授業準備等

12:55～16:10 講義出席

・

17:00　研究、就職活動、アルバイト等

・

24：00　就寝

大学院生は図書室から100日間、100冊借りることができます

大学院生で良かった！研究が楽しい！と思える瞬間、出来事

自分の研究について先生方からご指摘いただき、学問的な対話が成立する瞬間に研究の楽しさを実感します。

大学院を目指す方へのメッセージ

研究では思いもよらぬ結節点が潜んでいることがあるので、なんでも関心を持つマインドが大事かと思います。学部時代に比べ短い修士課程修了後の進路まである程度見通しを持っていると、スムーズに生活が進むのではないでしょうか。

教職			研究科
実践教育	専攻	臨床	コース
専門職学位		課程 1	回生

修了後の進路 ： 就職(教員)

研究テーマ：授業で使うUDと生徒が思う「わかりやすさ」

●大学院生の2年間の過ごし方

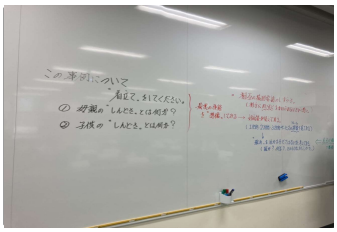
	春学期	秋学期
1回生	・入学 ・授業選択、大学院生活スタート ・臨床、国際、学習科学に関する授業 ・コース選択 ・教職専門研修1にむけた研究テーマの設定	・教職専門研修1のまとめ ・臨床、国際、学習科学のコースに分かれて授業 ・学校ボランティア
2回生	・教職専門研修2 ・論文構想発表会 ・教員採用試験	・修士論文執筆→提出 ・卒業

1回生の秋セメスターの一週間の過ごし方

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限						バイト、本屋巡り、課題、ショッピング
第2時限						
第3時限						
第4時限	学校マネジメントの理論と方法		現代の教師と教育実践		学級づくり実践演習	
第5時限	ピア・サポートによる生徒支援の実際と課題		教育実践高度化演習1	問題行動とその対応		
第6時限	社会科教育実践演習		学校教育相談・学校カウンセリングの理論と方法			
第7時限						

＜ある日の様子＞

7:30 起床
8:00 朝ご飯
11:00 学校で授業準備
12:00 お昼
14:40 授業
18:00 30分休憩で夜ご飯
18:30 授業
24:00 就寝



大学院生で良かった！研究が楽しい！と思える瞬間、出来事

教職専門研修では、教員免許を持ちながら、現場で実習生として授業を行ないながら、自分の研究を進めることができます。授業ではどう工夫したら生徒に面白いと思うきっかけを与えられるか試行錯誤を行ない、「先生の授業がわかりやすかった。」と言われたことが励みになりました。自分の研究テーマについても教授の方々からアドバイスをいただき、毎日が充実しています。

大学院を目指す方へのメッセージ

教職大学院では、教員を目指すために様々な専門的知識を持った学生が集まります。現職の教員の方々もいらっしゃるため、現場の話を聞き、毎日刺激をもらっています。教職大学院では、自分が持つ教育の知識を実践を通してさらに深いものにすることができます。皆さんと学べる日を楽しみにしています。

テクノロジー・マネジメント　研究科
博士課程前期　課程　2　回生
テクノロジー・マネジメント　専攻　コース

修了後の進路　：　就職（民間）

研究テーマ：教育・研修分野におけるBtoB向けVRビジネスの普及促進について

●大学院生の2年間のすごし方

	春学期	秋学期
1回生	・引越し（BKCからOICに移動） ・入学 ・授業（クォーター制） ・ゼミ（輪読報告、研究テーマ模索）	・プラクティカム（実践的課題解決型のプロジェクト） ・授業 ・ゼミ（研究テーマ策定、進捗報告） ・論文構想発表会
2回生	・就職活動開始 ・ゼミ（進捗報告） ・研究調査	・ゼミ（進捗報告、論文執筆） ・中間発表会 ・修士論文提出 ・卒業

1回生の秋セメスターの一日の過ごし方　※ P＝プラクティカム活動

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限						MOT研究科には社会人学生も多く在籍しているため、土曜日にも授業やゼミがあります。その分、平日の午前中などは時間があるためゆっくり過ごすことができます。日曜日は友達と一緒に遊びに行ったり、趣味に時間を費やしたりなど、有意義な時間を過ごしています。
第2時限	ミーティング（P）	研究活動	ミーティング（P）	研究活動	長期インターン	
第3時限						
第4時限	長期インターン	ゼミ	授業	ミーティング（P）		
第5時限		調査（P）				
第6時限		授業		進捗報告（P）		
第7時限						

＜ある日の様子＞
9:00　起床・朝食
10:00　研究活動開始
・
13:00　食堂で昼食
・
15:00　研究室でゼミ
・
16:30　ミーティングに向けた調査（P）
・
18:00　授業
・
21:00　帰宅・夕食
24:00　就寝

大学院生で良かった！研究が楽しい！と思える瞬間、出来事

MOT研究科で最も良かったことはプラクティカム活動に参加できたことです。実際に企業が抱えている課題に対して真正面から対峙したことで、MOTの理論と実践を肌で感じることができました。また、学生では経験できない貴重な経験を得ることができ、一回りも二回りも成長することができたと実感しています！

大学院を目指す方へのメッセージ

大学院生は研究に全てを捧げるかのように思われがちですが、MOT研究科は全くそんなことはありません。研究をはじめ、起業やプロジェクト活動、長期インターンなど挑戦できることは無限大です。ビジネスに興味がある学生であれば、MOT研究科では様々なことにチャレンジできる環境があると断言します！

情報理工学	研究科
博士課程前期	課程　2　回生
情報理工学　専攻	計算機科学　コース

修了後の進路　：　就職

研究テーマ：遅延耐性ネットワークに関する研究

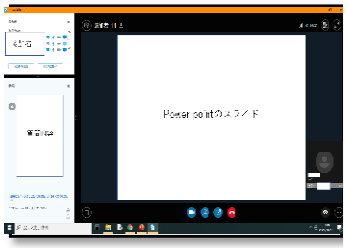
●大学院生の2年間のすごし方

	春学期	秋学期
1回生	・入学(内部進学) ・授業選択、大学院生活スタート ・TA(アルバイト) ・TISA(立命館大学の国際交流団体)	・就職活動準備 ・学会発表 ・研究テーマの変更 ・TA(アルバイト) ・TISA(立命館大学の国際交流団体)
2回生	・就職活動開始 ・TA(アルバイト) ・修士論文に向けた研究内容の検討 ・修士論文作成に向けた予備調査	・TA(アルバイト) ・修士論文執筆→提出 ・学会発表(予定) ・卒業

2回生の春セメスターの一日の過ごし方

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限					TA	自宅で出来る趣味で息抜きをしています。 ・電子ドラムで遊ぶ。 ・資格の勉強をする。 ・読書をする。　等
第2時限	TA	自主学習	自主学習	自主学習	TA	
第3時限	研究	自主学習	自主学習	自主学習		
第4時限	研究室ゼミ				自主学習	
第5時限	研究室ゼミ	研究	研究	研究		
第6時限						
第7時限						

＜ある日の様子＞
9:00　起床
10:30 TAの準備(オンライン・Zoom)
10:40 TA業務(出席管理・質問対応・小テストの仮採点等…　)
12:00 昼食
13:00 仮眠
13:30 研究室ゼミの報告スライドを確認。
14:30 研究室ゼミ(オンライン・Skype)　私が所属している研究室の場合、Power Pointを全体に共有し、音声のみで発表します。
(私の研究は自宅PCで出来るので、基本的に研究室へは行きません。)
20:00 自主学習(資格の勉強)
23:30 就寝

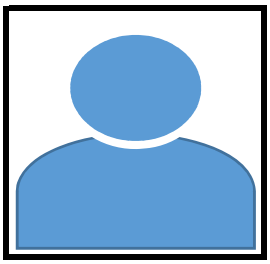


大学院生で良かった！研究が楽しい！と思える瞬間、出来事

大学院生で良かったことは、自分の学びたい専門内容に取り組む時間がしっかりと取れることです。学部生の頃は様々なレポート課題で多忙だったため、じっくりと自分の勉強に時間を使うことが出来る大学院生活は面白いです。

大学院を目指す方へのメッセージ

私は大学院へ進学し、研究や専門的な勉強に取り組むことで、自分の目標や考えを明確にすることが出来ました。社会人として働くまでの2年間の大学院生活は、とても貴重な経験になると思っています。ぜひ大学院進学を検討してください!



経済学　研究科

博士課程前期　課程　1　回生

経済学専攻　地域経済・地域マネジメントコース

修了後の進路　：　就職

研究テーマ：地域における産官学連携によるAI/IoTを活用した持続可能な地域経済発展の試みと課題

●大学院生の2年間のすごし方

	春学期	秋学期
1回生	・入学 ・授業選択、大学院生活スタート	・修士論文構想 ・修士論文のためのフィールドワークと資料調査 ・研究会の現地調査 ・就職活動準備
2回生	・就職活動開始 ・論文構想発表会 ・修士論文執筆開始 ・研究会論文執筆開始	・修士論文発表 ・研究会論文発表（学会参加） ・卒業

1回生の春セメスターの一日の過ごし方

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限	地域文化経済論				経済政策	主に平日に終わらなかった課題やゼミの調べものを。息抜きには、お昼を近場のカフェか、時々京都まで出かけて気分転換を。夜には映画やドラマなどを見てます！
第2時限		TA	研究会	地域ブランド論	TA	
第3時限				地域産業研究	ゼミ	
第4時限				調査実習		
第5時限			アグリビジネス論	マクロ経済理論Ⅱ		
第6時限						
第7時限						

＜ある日の様子＞

6:30　起床
7:00　朝食
8:30　登校
9:00　授業（対面）
10:40　TA
12:10　昼食
13:00　大学院ゼミ
16:15　アルバイト
21:00　帰宅
22:00　レポート課題やゼミに向けての調べもの（学校のVPN使用）

大学院生で良かった！研究が楽しい！と思える瞬間、出来事

授業でフィールドワークに行った後、その地域で行われている事業の経済効果を調べようという研究会を立ち上げました。同じ専攻コースのメンバーもいれば、他の研究科のメンバーも加わり、より幅広い内容で意見交換ができるようになってとても楽しく充実したミーティングを行えています！また、校内では研究会に対する援助プログラムもあり、その研究に集中できる環境が整えられていることが大学院の強みでもあると感じています。

大学院を目指す方へのメッセージ

学部の時と違って取得単位が少なく、フリーな時間が多いので、どれだけ時間を有効に使うかが大事になってきます。でも興味のあることや、やりたい事にどんどん挑戦できるし、その環境もまた整っていると思います。また、指導先生や他のゼミ生、研究会などを通じて新しい人にどんどん出会え、学部とはまた違う人間関係を築けることも魅力です。文系の院生は珍しくもありますが、文系院生だからこそ描けるキャリアマップも必ずあると思います。

経営管理	研究科
専門職学位	課程　1　回生
経営管理　専攻	キャリア形成プログラム
修了後の進路　：　就職or会社経営	

研究テーマ：事業案作成、執筆（ソーシャルビジネスにおけるビジネスモデルについて（仮））

●大学院生の2年間のすごし方

	春学期	秋学期
1回生	・入学 ・授業選択、大学院生活スタート	・課題研究構想 ・課題研究に向けた予備調査 ・資料収集 ・就職活動準備
2回生	・就職活動開始 ・論文構想発表会 ・課題研究執筆開始	・課題研究提出 ・卒業

1回生の秋セメスターの一日の過ごし方

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限			TA			土曜：3限、4限授業、日曜：イベント開催
第2時限	移動	移動	YouTube撮影	移動		
第3時限	授業	授業	勉強	授業	仕事	
第4時限	授業	授業	勉強	授業	仕事	
第5時限	移動	移動	移動	移動	仕事	
第6時限	仕事	団体活動	仕事	仕事	仕事	
第7時限	仕事	団体活動	仕事	仕事	仕事	

＜ある日の様子＞
9:00　起床
9：15～10：00　移動中LINE、mail返信、作業
10:00 学校着、研究室で予習、復習
11：50～　学食
13：00～16：10　授業
16：10～17：10　授業の班で打ち合わせ
17：10～18：00　移動中LINE返信、ミーティング準備
18：00～21：30　学生団体てらふるミーティング
21：30～21：45　夜ご飯（外食しにいくことも）
21：45～23：30　動画編集、計画たて、ミーティング、ゲーム等々
23：30～24：30　風呂、就寝準備

大学院生で良かった！研究が楽しい！と思える瞬間、出来事

・多くの中国人、韓国人、社会人の同級生、先生に囲まれ、OB、OGの方との繋がりができること
・第一線で活躍されている経営者（社長や会長）の貴重なお話をきけること

大学院を目指す方へのメッセージ

後悔ない卒業後の選択を行おう！！

文学	研究科
博士課程後期	課程　2　回生
人文学　専攻	英語圏文化　専修

修了後の進路　：　帰国して大学の先生になりたい

研究テーマ：現代中国語移動表現の動詞枠付け的性質―統語的証拠からの考察と日本語、英語と

●大学院生の3年間のすごし方

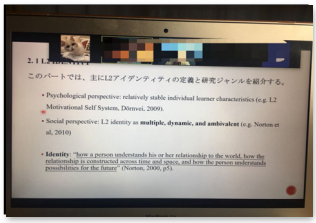
	春学期	秋学期
1回生	・入学 ・授業選択・博士後期課程スタート ・年度研究計画書の提出	・修士卒業論文を整理したものを発表する ・先行研究のまとめ
2回生	・授業選択 ・博士論文の構成を書き、年度研究計画書を提出する	・二つ目の論文を発表する ・博士論文の章立てを建てる
3回生	・三つ目の論文を発表する ・最後に調整した博士論文の章立てを元に、年度研究計画書を提出する	・発表した三つの論文をまとめ ・博士論文を提出する

2回生の春セメスターの一日の過ごし方

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限					研究入門（TA）	・アルバイト ・ギターを弾く ・ピアノを弾く ・switchゲームをする ・ドラマを見る
第2時限					比較文化講義（TA）	
第3時限						
第4時限					英語学	
第5時限	人文学の最前線	現代中国言語文化特殊問題（聴講）		特別研究		
第6時限				特別研究		
第7時限						

＜ある日の様子＞

8:30　起床
9:00 - 10:30　TAとして「研究入門」に参加する
10:40 - 12:10　TAとして「比較文化講義」に参加する
・
13:30　予習
14:40 - 16:20　ZOOMでの英語学の授業
・
16:30 -18:00　ZOOMでの研究会
・
20:00 - 21:00　論文を読んで、要約を書く



大学院生で良かった！研究が楽しい！と思える瞬間、出来事

自分が書いた論文が論文集に掲載され、論文集が家に届き、自分の論文が載っているページを見た瞬間、大学院生で良かった！研究が楽しい！と思いました。

大学院を目指す方へのメッセージ

進学することは、自分にどんな人生を送りたいかの選択肢を増えた重要な一環だと思います。進学することをきっかけに、なりたい大人に近づきましょう！

テクノロジー・マネジメント　研究科
博士課程後期　課程　1　回生
テクノロジー・マネジメント専攻　コース
修了後の進路　：　就職

研究テーマ：iA Qualitative Investigation into Definitions of Advertising in China: The Short Video Perspective in China: The Short Video Perspective

●大学院生の3年間のすごし方

	春学期	秋学期
1回生	・入学 ・授業選択、必要な単位を全部履修	・学会論文を執筆 ・ジャーナルに投稿
2回生	・学会論文を執筆 ・ジャーナルに投稿	・学会論文を執筆 ・ジャーナルに投稿
3回生	・就職活動開始 ・学会論文を執筆 ・ジャーナルに投稿 ・博士論文執筆開始	・博士論文執筆→提出 ・卒業

1回生の春セメスターの一日の過ごし方

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限						ほぼ集中講義だから、決めた曜日がない
第2時限						
第3時限						
第4時限						
第5時限						
第6時限						
第7時限						

＜ある日の様子＞

9:00　起床
↓
研究を中心とした色々な調査や論文の閲覧
↓
01～3:00　就寝

大学院生で良かった！研究が楽しい！と思える瞬間、出来事

他人が知らないものを知った瞬間、無知を破る瞬間が一番最高

大学院を目指す方へのメッセージ

大学院ではいろいろな過ごし方があるが、まず自分にとって一体何を知りたいのか問い詰めるほうがいい。研究は孤独で、我慢できる人間の道だから、もし、お金を稼ぐためならば、短期間でそんないいことがない